

こころ豊かな暮らしづくり・まちづくり

広報おおき

No.546
2026
令和8年

9月号



新しい時代の大木町を、みんなで描こう 2～5ページ

おたから
シリーズ 町の文化財紹介 6～7ページ

写真：8月7日に開催されたおおき未来会議（2～5ページに関連記事）

新しい時代の大木町を、みんなで描こう

～新しい「自治総合計画」の策定がはじまります～

☎企画財政課 ☎0944-32-1036

自治総合計画とは

自治総合計画とは、「町の将来像」や「めざす町の姿」などを定めた、まちづくりの道しるべとなる最上位の計画です。町ではこの計画に沿ってさまざまな事業を進めています。現行の計画の期間は、令和3年度から令和9年度までです。

これまでのまちづくりも次の計画へ

町では、これまで町民の皆さんと行政で協力してまちづくりを進めてきました。

現行の自治総合計画は、令和2年度に各校区でワークショップや町民アンケートを実施して策定されました。「この町が好き」「住み続けたい」という声が多く集まり、そうした町民の皆さんの思いを形にした計画となっています。

この計画の基本理念のもと、令和6年に各校区の協議会で「校区づくり計画」が策定されました。地域の課題を地域自らが解決する、住民主体のまちづくりが進められています。

こうした積み重ねを土台に、現在、町では令和10年度からスタートする新しい自治総合計画の策定準備を進めています。

私たちを取り巻く変化の波

今、大木町を取り巻く環境は、大きく変わりつつあります。

少子高齢化と人口減少が同時に進行

人口は減少しても世帯数は増加（高齢者の一人暮らしが増加）

介護・福祉・医療・子育てなど、社会保障にかかる費用の増加

公共施設の老朽化が進み、建て替えや修繕への投資が必要

農業・商工業を支える地域産業の担い手不足

専門人材職員の確保、業務のデジタル化が急務

こうした課題に対応するために、10年先を見据えた計画が必要です。町民の皆さんが安心して住み続けたいと思える持続可能な循環のまちを目指します。

久留米大学と連携

新しい自治総合計画の策定では、地域連携に力を入れて取り組んでいる久留米大学と連携します。

久留米広域連携中枢都市圏推進協議会（大木町・久留米市・大川市・小郡市・うきは市・大刀洗町）の取り組みの一環として、大学生の「外からの目線」と「新鮮な気づき」をまちづくりに生かします。また、大学生にはワークショップの進行役（ファシリテーター）を担っていただきます。



自治総合計画を大学生に説明する副町長

自治総合計画審議会

7月28日に開催された自治総合計画審議会において、次期自治総合計画の策定への意見を求める諮問が行われました。

広松町長からは、「自治総合計画は将来にわたるまちづくりの方向性を示す大変重要な計画です。行政だけの視点ではなく、地域で活動されている皆さんの視点を反映させていく必要があります。ぜひ率直なご意見をお願いします。」との挨拶があり、諮問書が同審議会の久良木会長へ手渡されました。



自治総合計画審議会での諮問の様子

新しい自治総合計画は3つの会議で未来を語り合います

新しい自治総合計画の策定では、未来のまちづくりに向けて、さまざまな世代が連携し、町民の皆さんが主役となる3つの会議を通じて議論を深めていきます。

【テーマ】

10年後のまちの将来像・めざす姿を提案
(中学生、高校生、大学生、各校区、公募委員)

おおき未来会議

自治総合計画審議会

自治総合計画策定委員会

校区協議会

おおき未来産業会議

【テーマ】

地域資源を活かした産業・ブランド・環境共生を検討
(農業者、商工業者、金融機関、大学生)

【テーマ】

校区づくり計画の振り返りと新たな計画の検討
(各校区協議会)



おおき未来会議が

スタート!!

おおき未来会議では、さまざまな世代の人が集まり、大木町の未来を語り合い、自由にアイデアを出し合います。10年後のまちの姿を一緒に考えます。



	日時	テーマ・内容
第1回	8月7日【終了】	大木町わくわく探検隊（町内視察）
第2回	8月25日【終了】	ワークショップ②
第3回	9月19日(土) 13時～15時	ワークショップ③
第4回	10月17日(土) 13時～15時	ワークショップ④

※第3回と第4回は傍聴可能です。



8月7日に、おおき未来会議の第1回として「大木町わくわく探検隊」が開催され、28人の委員が参加しました。このイベントは、第1回目のキックオフイベントとして、委員同士の交流も兼ねて、町内をバスで巡り、町の魅力や地域資源を再発見することを目的に開催されました。

暮らしを支える
クリークの歴史を学ぶ

最初の見学先は「クリークの里石丸山公園」。町の歴史に詳しい西川典洋さん（にしがわのりひろ）さんから、クリークの歴史と役割の説明を受けました。

中村勝さん（大溝校区コミュニティ活性化委員会副会長）からは「石丸山公園では、堀干しまつりなど昔からの行事に加え、堀DAYミュージックやイルミネーションなどのイベントも実施し、毎年多くの人が訪れている。町の特産物である菱を多くの人に知ってもらいたい」と話がありました。

町の面積の14%を占めるクリークが、昔から私たちの生活に密接に関わってきたことを学びました。



液肥で育てる

ブランド米を知る

次に、前牟田東公民館北側の水田を見学しました。ここでは町の循環の取り組みから生まれた有機液肥『くるっ肥』を使った米づくりが行われています。収穫されたお米は『環のめぐみ』としてブランド化されています。石丸山公園に引き続き、生産者の中村勝さんから説明があり「町自慢の『くるっ肥』を使った『環のめぐみ』を町民の皆さんにたくさん食べていただきたい」と思いを語られました。



生ごみなどを資源に変える取り組みを見る

次に、「おおき循環センターくるるん」を見学しました。ここでは、生ごみ、し尿、浄化槽汚泥をメタン発酵させ、電気と有機液肥「くるっ肥」を生み出しています。

発電した電気は施設の電力として使われ、有機液肥は農地に還元されています。

生ごみなどを資源として有効活用する「循環のまちづくり」の原点がここにあります。

委員からは、「町内に長く住んでいるけど、実際にくるるんの施設を見たのは初めて。普段やっている生ごみ分別のその先を見ることができて良かった」との感想がありました。



町のきのこ産業と 生産者の思いに触れる

午後からは、株式会社ドリー
ムマッシュを見学し、町の主要
産業の一つであるきのこ産業の
話を聞きました。

説明をしていただいた専務
の廣松真輔（ひろまつまほ）さんは、「大木町
のおいしいきのこの知名度を
もっと上げていきたい」と思い
を語られました。

普段当たり前に私たちの食
卓に並んでいるきのこ。実際の
栽培現場を見学し、生産者の
思いに触れることで身近な特
産品の魅力を改めて感じる機
会になりました。



廃菌床とカブトムシの 新たな可能性を感じる

次に、きのこ栽培の過程で
出る廃菌床の有効活用を進め
る大木バイオクリエーションズ
株式会社を見学しました。

社長の内田隆太（うちだりゅうた）さんは、「廃
菌床はもともと堆肥として有
効活用されているが、カブトム
シで利用することで、新たな
循環のモデルになるし、さまざ
まな可能性を秘めている。大
木町といえばカブトムシとな
るように頑張っていきたい」と話
されました。

廃菌床の有効活用とカブト
ムシの養殖を掛け合わせた取
り組みは、循環のまちづくり
の理念に通じる新たな可能性
を感じました。

健康と子育てを支える 施設を理解する

健康福祉センターでは、町
民がいつまでも健康に生活する
ために、「地域のつながり」を
生かしながら、全世代が「ワ
クワクするような健康づくりの
仕組み」をつくるのが大切
との話がありました。

こども家庭センターでは、
妊娠期から産後ケア、小中学
校まで、子育て世代を切れ目
なくサポートする取り組みが
紹介されました。町の令和7
年の出生数は54人であり、町
民の皆さんが安心して子ども
を産み、育てることができ
る子育て環境の充実に努めてい
くとの話がありました。



まとめのワークショップ

最後に、1日を通して感じた、町のいいところ（魅力・地域資源）などを、それぞれのメモをもとにグループで共有し、意見交換を行いました。

みんなで町内を巡り、話をする機会
がなかったので、とても刺激になり充
実した時間だった。違う視点から気づ
く魅力も勉強になった。さまざまな立
場や考えを持つ人が町のことに考えを
巡らせてくれるといいなと思う。

それぞれの目線から見る大木町の良さが
聞けて良かったし、嬉しかった。大木町の
魅力をもっと知りたいし、発信していきたい。



参加者の感想



ごみ分別に力を入れている町だが、
カブトムシが「循環」に関わっている
という面白いことはまだ充分に知られ
ていないと感じた。もっと町内外の人
に知ってもらいたい。

ほかの町と比べたら商業施設は少
ないが、昔から続く風景や伝統が残
っているのは魅力だと感じた。

特に子育てに対するサポートや資源
循環の取り組みはこの町の特徴だと思
う。子どもを増やすためにも、まだ
課題はあるが、他の自治体にも影
響を与える町になってほしいと思う。

循環型のまちづくりが想像以上に魅
力的で実用的だった。課題もあるので、
どう解決するかを今後のワークショッ
プで考えていきたい。



町内あちこちに
点在する鎮守の
杜。どの神社も地
域の皆さんが日々
お世話をしたり、
お祭りを行ったり
して、今日まで大
切に守られています。
今回は大薮地
区の神社を紹介し
ます。



▲八幡神の使いと言
われている「鳩」。
野口中野の八幡神社
にもあちこちに！



●…神社の位置

シリーズ 地域の文化財紹介

（問）地域づくり課 電話 0944-3211047



▲楼門の彫刻は見ごたえ充分



▲境内の桜も、参道の桜に負けず劣らず



▲鳥のさえずりにも耳を傾けて

大薮田中・奥牟
田の氏神で、正安3
年（1301年）に
高橋丹藤兵衛基氏が伊
豆の三島神社から勧請
しました。基氏は元寇
後に当地の地頭となっ
た御家人です。

①三島神社（大薮）
住所 大薮1
神様 大薮1
事代主命
住吉大神
春日大神

以前は、2月15日に御神幸
や流鏝馬などが行われ、参道
には出店が並ぶほど賑わったと
いわれています。現在は、参
道の桜並木が有名で、多くの
人が花見に訪れています。

他の地区の神社と比べると、
本殿や拝殿などが一回り大き
く、屋根の形も大社を思わせ
る造りです。また、楼門は、
町内では珍しい彫刻が施され
た二階建て楼門です。



▲社殿の上に突き出ているのが千木、
横に突き出ているのが鯉木



▲池上丁一さんの父で書道家の雲泉さんの書

② 高良玉垂命神社

こうらたまたれのみこと



▲二の鳥居の扁額

住所 奥牟田1
神様 武内宿禰

奥牟田の氏神で、永和元年（1375年）に住人の池ノ上蔵人が高良山から勧請しました。境内は南北に細長く、128mある参道は町内で3番目の長さです。

入口から2番目にある鳥居の扁額には、有馬頼寧伯爵が書いた「高良社」の字が刻まれています。伯爵は旧久留米藩主有馬家の第十五代当主で、競馬の有馬記念の名前の由来となった人物です。

緑に覆われた長い参道の脇



▲風格のある拝殿

③ 八幡神社

はちまん



住所 三八松1961
神様 菅田別命（応神天皇）

中野の氏神で、元久2年（1205年）に山城国（京都府）から勧請しました。応神天皇を祀る「八幡神」の信仰は全国に広がっています。

町内にも八幡系の神社として、若宮八幡神社（前牟田東）には多数の奉納物が並んでいます。

参道を進み楼門をくぐり抜けると末社の守美八幡社が現れます。さらに進むと昭和4年に建替えられた社殿が参拝者を出迎えます。緑青の銅板屋根と、棟に千木・鰹木を持つ立派な造りです。



▲奥深い参道



▲拝殿の扁額

若宮八幡神社（五反田）、若宮神社（待島上）、八幡神社（蛭池中）などがあります。堀と緑に囲まれた境内には、歴史の趣を感じさせる静かな空気が漂っています。見事な大銀杏をはじめ、梅や桜、藤などが四季折々の彩りを添え、地域の人々に親しまれています。

末社には、祇園社（素戔鳴命と月読命）があり、月読命は、夜を照らす月の神様です。

昔の人々にとって、月の満ち欠けは季節や農作業の時期を知る重要な手がかりでした。



▲目玉がはめ込まれた軒下の彫刻は見事

④ 三島神社（小入）

ほそり

住所 大藪699
神様 事代主命
住吉大神

春日大神

小入の氏神で、嘉元2年（1304年）に富安蔵人が伊豆国から勧請しました。境内には馬の石像1体（昭和11年）と牛の石像1体（昭和12年）があります。また、拝殿内には奉納絵馬「七福神図」と「頼光酒吞童子退治図」の2枚のほか「太閤記」を題材



▲七福神図絵馬



▲頼光酒吞童子退治図絵馬



▲拝殿の彫刻

にした天井絵馬96枚があり、現在は箱に保管されています。毎年10月22日には、五穀豊穣に感謝して例大祭が行われます。祭りの後には、神様を宿した御幣を座元が背負い、地域の人々に見守られながら家へ帰ります。

春には道沿いの桜が彩り、境内には大きなどんぐりの木が枝を広げています。子どもたちにも親しまれる、憩いの散歩道です。



▲春は桜が出迎えてくれます

「もしも」を「いつも」

☎総務課 ☎0944-32-1035



9月1日は「防災の日」

1923年9月1日に発生した関東大震災。マグニチュード7.9を記録し、甚大な被害をもたらしました。この災害を教訓として、一人ひとりの防災対策の重要性を広く理解してもらうため、9月1日が「防災の日」と定められました。

7月28日に発生した令和8年熊本地震では、大木町でも震度4を観測しました。災害はいつ起こるかわかりません。「いつも」の暮らしを守るためには、「もしも」への備えが必要です。

地震への備え

地震は、いつ、どこで発生するかわかりません。福岡県内にも、大木町に大きな被害をもたらすおそれのある活断層があります。いざという時に自分や家族の命を守るためには、日ごろからの備えが必要です。

1 家の中の安全対策

地震による家具の転倒は、大きなけがや避難の妨げにつながります。家具はしっかり固定し、配置を見直しましょう。

非常用持ち出し品は、すぐに持ち出せる場所に準備しておくこと安心です。



2 災害リスクを知る

「ハザードマップ」は、災害種別ごとに被災想定区域や避難場所などの防災関連情報を地図上にまとめたものです。事前に確認して、身の回りの災害リスクと最適な避難経路を把握しておきましょう。



4 地震が起きたら

地震時の行動

揺れを感じた時や緊急地震速報が届いた時は、丈夫な机の下に隠れたり、物が倒れてこない場所に移動したりして、揺れが収まるまで様子を見ます。慌てて外に飛び出してはいけません。



地震直後の行動

余震に注意しながら近くのドアや窓を開けて避難経路を確保します。火を使っている場合は無理に近づかず、揺れが収まってから落ち着いて火の始末をしましょう。



地震後の行動

正しい情報を収集し、余震に備えます。屋外ではガラスやブロック塀、垂れ下がった電線には危険なので近づかないようにしましょう。

もし沿岸部にいた場合は津波に警戒して速やかに高台へ避難します。



非常用持ち出し品チェックリスト

- | | |
|------------------------------------|--|
| ☐ 飲料水 | ☐ 携帯ラジオ |
| ☐ 非常食 | ☐ 常備薬・おくすり手帳 |
| ☐ 現金 | ☐ 救急用品（ばんそうこう・消毒液） |
| ☐ 身分証明証のコピー | ☐ 衛生用品（マスク・ティッシュ・ウェットティッシュ） |
| ☐ 衣類・下着 | ☐ 洗面用品（歯ブラシ） |
| ☐ 雨具 | |
| ☐ モバイルバッテリー | |
| ☐ 懐中電灯 | |

各家庭の事情に合わせて、避難の際に必要な物を準備しておきましょう。



3 正しい情報を確保する

災害時は正しい情報をいち早く入手することが重要です。避難情報や避難所の開設状況、ライフラインの復旧などを確認し、落ち着いて行動しましょう。スマートフォンアプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」は、位置情報に応じた防災情報や避難所の開設状況を確認できます。また、災害時に取るべき行動をイラストでわかりやすく紹介しています。

ふくおか防災ナビ・まもるくん
App Store Google Play



よってかんの大溝 大木さるこいフェスタ 2026

11月8日（日）10時スタート
出発・ゴール：道の駅おおき

7月11日、コース沿いの地域の皆さんと事前のコース確認を行いました。休憩やおもてなしの場所を案内していただき、地域の見どころなどを確認しました。

各地区では、どんなおもてなしをするかの話し合いが進められています。各地区の魅力発見、楽しみですね。

今回は
大溝西部エリア
牟田・古賀・横溝油屋・横溝町・
横溝本村・道本・堀田・中島・
五反田・上白垣



堀田の円通庵廃寺跡



道本の月讀神社



上白垣の天満神社



牟田の公民館と川まつり



古賀の豊地の郷

10月のイベント

堀DAY MUSIC

第5回
ホリデーミュージック
IN 石丸山公園

2026

10/4 ステーションC
KBCアナウンサー
長岡大雅



思い出野郎Aチーム



バンバンバザール



COOLM.B



イーシス



VIC BONGO



浦田兄弟



ZOO ZOO S&D

JADE

あじたま(丼)

南筑高校軽音部

大木中学校吹奏楽部

10/4

アートワークショップ by north NADO

画材を使ってあそぼー！
モンスターをつくろー！



今年も
開催!!

前夜祭

OPEN 13:00
CLOSE 18:30

10/3

・ゴスペル大作戦
・ダンスコンテスト

下津浦 樹莉 / sakurako
堤 良雄 / yuyu / ZUMMY

入場無料



公式WEBSITE



公式Instagram

10.4 SUN

OPEN 9:00
CLOSE 17:00
会場:石丸山公園

主催:堀DAYミュージック実行委員会 大木町商工会事務局(担当:赤峰) 協力:大木町
お問い合わせ:大木町商工会事務局(担当:赤峰) ☎0944-32-1336
〒830-0416 福岡県三洲郡大木町八町半田255-1

特別協賛:西日本鉄道株式会社

この事業は、大木町ふるさと納税所得金、
福徳県産品を活用して実施しています。

Nishitetsu



9月のイベント



世界中の

カブトムシ・クワガタが大集合!!

あこがれのヘラクレスが当たる昆虫ガチャもあるよ!!

期間 9.19(土) ▶ 9.21(月)

時間 10:00 ▶ 16:00

最終日は昆虫売り切り抽選イベントを16時から開催!!

会場 WAKKA (大木町地域創業・交流センター)

入場料

大人 500円

子ども 500円

2歳以下無料



イベント情報



ビーラボ (昆虫販売サイト)

カブクワすごいぞ!!

検索

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

[主 催] 株式会社TOMUSHI (カブクワすごいぞ実行委員会)